

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 東幸会	代表者	伊藤 友子	法人・ 事業所 の特徴	八戸市常番町に位置し、中心街から徒歩5分の閑静な住宅地にあることから、交通の便も良く、市立図書館バス停より徒歩1分と、面会者や来客者にも便利な場所に建っています。地域活動としましては同町内会への加入はもとより、地域住民の介護相談へも積極的に取り組んでおります。
事業所名	小規模多機能ホーム サンシャイン	管理者	前田 靖子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	0人	3人	0人	0人	1人	0人	4人	0人	9人

項 目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の 確認	●前回同様に2人組で2項目ずつ担当していく事は継続。意見の擦り合わせも、LINEWorksで担当者が実施する事をスタッフに周知し、協力し合い時間を作る。 ●LINEWorksの使用について、個人差が無いように、全職員が意識して活用していく。また、必要なグループがある場合は、随時増やして行く。	◆経験者と未経験者を組み合わせる事でスムーズに実施出来たと思っている。 ◆LINEWorks使う事も、徐々に慣れてきていると感じている。新人スタッフも積極的に使用し申し送りには活用出来ていると思う。 ◆必要なグループは感じられなかったため、現状の業務用、利用者用の2つを組み合わせ使用している。	*毎年思うが、これには意味があるのか？質問内容も訳が分からない所があって、“はい”“いいえ”のどちらを選択したら自分の思っている回答になるのか分からない部分がある。内容を変える事は出来ないのか？	●様式が決まっている為、変更は出来ないが、評議員から評価を受ける際には、補足で分かりやすい文章を載せて答えて頂きやすい工夫する。 ●2人組で2項目ずつ担当していく、スケジュール的にも余裕を持って取り組んで行く。
B. 事業所の しつらえ・環境	●ミラーに慣れ、最大限の注意を払って、出入りをして行く。玄関前にご家族様、お客様が駐車した場合は可能な限り、道路まで誘導し事故防止に努める。 ●駐車場については、通り抜けは不可能だと思われる為、駐車台数の確保をし、ご家族様、お客様に不便を掛けないように改善していく。	◆危険と思われる場面はあったが、事故に至らずに済んでいる。また、バックで道路に出る際は誘導したりして安全を確保している。 ◆駐車スペースを3台分増加し、お客様用の場所も確保出来ている。	*逆走する車、商業施設が近隣にオープンしてから通行車両が若干増加している為、気を付けてほしい。 *駐車スペースも増台して、駐車場の管理の方もイベントに顔を出してくれている報告もありましたので、今後、関係性を密にして、再度通して貰えると良いと思います。	●お客様の駐車スペースを確保した為、玄関前ではなく駐車スペースに駐車して頂き、道路の出入りの危険をなるべく減らしていく。 ●駐車場管理者との関係性は悪くはないと思っているが、通路については開設当時の契約が曖昧で、強く言えない部分もある。今まで以上に良好にしていける様に、イベント時の参加の声掛けを継続して、参加回数を増やせるように努力をして関係性をより良いものにしていく。

C. 事業所と地域のかかわり	●地域の繋がりを大切にし、町内会の入会の継続、地域交流祭又は感謝祭を実施し施設に対しての理解を深めて頂く。 ●地域のイベントや会議には可能な限り参加し、今まで以上に地域に必要とされる施設へと成長していく。 ●掲示板は古くなっている為、地域交流委員で検討し綺麗にしていく。 ●町内会のイベントに、他地区の方々も参加していただける様に協力をして行く。 ●公民館祭りなど、お声掛けをいただけるのであれば、作品など出展して行きたい。	◆感謝祭ではなく、地域交流祭として再開する予定でしたが、自粛せざるを得なかった為、感謝祭として実施した。 ◆町内会、公民館行事には利用者と参加する事が出来た。公民館祭りには、利用者と一緒に作成した物など展示予定でしたが、こちらも自粛の為来年に持ち越しとなった。 ◆フェンスの掲示板はまだ手付かずの為、利用者と一緒に何かできる方法を検討し来年度はキレイにしたいと思う。	*町内会の掲示板は塗り直したので見栄えが良くなっていると思う。フェンスの所も是非行って欲しい。 *町内会活動の協力をこれからもお願いしたい。 *公民館祭りには来年は必ず展示して欲しいと思う。今年度は残念だった。	●町内会入会の継続、地域交流祭を実施し地域の方々に施設に対しての理解を深めて頂く。 ●地域のイベントや会議には可能な限り参加し、今まで以上に地域に必要とされる施設へと成長していく。(継続) ●掲示板は見た目が悪くなっている為、地域交流委員で検討し5月までに、利用者と共に作成し綺麗にしていく。 ●公民館祭りへの展示作品を新たに作成していく。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	●個別外出は全利用者様が思いの場所に行く事が出来る様に思いを探り、用紙を作成し実施出来る様にしていく。 ●地域の他のイベントを確認し、地域交流祭の時期や内容を再検討し実施に向けて考えていく。利用者、子供達、近隣の方々に楽しんで頂ける企画を提案していく。	◆スタッフの協力がスムーズだった為、沢山の利用者が個別外出の実施が可能になり、利用者、ご家族様より感謝されている。 ◆地域のイベントに参加する事ができたが、地域交流祭が出来なかった為、近隣の皆様を巻き込んだイベント実施は出来ず残念だった。	*個別外出、外出イベントが家族から喜ばれているのは分かる気がする。何かあった時の対応を考えれば、プロの方々に連れて行って貰った方が安心。 *今後も色々協力をしてもらえば助かるので、お願いしたい。 *スイカ割りを希望している子供達が居るので、交流祭を実施の時には“スイカ割り”も検討して欲しい。	●個別外出は時期に関係なく行きたい時に行ける状況を構築して行く。その為にも、ご家族との信頼関係を密にし、何時でも声を掛けた時に理解を示して頂きご協力を得られる環境作りをしていく。 ●“スイカ割り”に関しては、地域交流祭が実施できる状況であれば検討していく。
E. 運営推進会議を活かした取組み	●検討した結果、奇数月の第3金曜日 15 時開催は変更せずに実施。土日の休みを 1 時間前後の会議の為に、時間を費やし予定も組めなくなるよりは、きちんと休日进行して欲しいと結論。よって、次年度も変更せずに対面で実施する。	◆対面で実施はとても良い事だと改めて実感している。沢山のご意見やご提案をいただき充実した時間となっている。	*ご意見無し	●現在役職職員のみ参加となっている為、他職員も参加出来る環境を作りたいと思う。

F. 事業所の 防災・災害対策	●自事業所以外の合同避難訓練などあった場合には積極的に参加していく。 ●BCP シミュレーションは継続。その度にマニュアルを見る事によって、変更された最新の内容等常にみる事ができ、有事の際は慌てずに、各々が行動出来るようにしていく。	◆長者地区自主防災組織についての情報がなく協力出来ない。 ◆BCP マニュアル更新、また、シミュレーションは紙面だが実施出来ている。強い地震があった時には、スムーズに決められた事をスタッフが各々で実施する事が出来ていた。日頃の訓練やシミュレーションがきちんと発揮されたと実感した。	*新人スタッフも増えている様なので、また、消防を呼んで消火器の使用方の訓練を町内と共同で行いたい。	●自事業所以外の合同避難訓練などあった場合には積極的に参加していく。(継続) ●BCP の更新、シミュレーションは継続。 ●防火管理者に依頼し消防との調整を図ってもらい、消防立ち合いの避難訓練、地域住民にも声を掛け消火器の使用訓練を行う。
----------------------------	---	---	--	---

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 6 年 10 月 16 日 (14:00 ~ 14:10) 令和 6 年 10 月 24 日 (14:15 ~ 14:25)
1. 初期支援 (はじめのかかわり)	メンバー	松橋・荻ノ沢・木村・奥瀬・前田 石渡・佐々木・畑中 (義)・畑中 (悠)・盛田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1	7	2	2	12

前回の改善計画	・家族からの情報、意向を確認する為、アンケート調査を実施する。 ・LINEworks を活用し、統一したケアが出来るよう情報を共有する。活用する職員の個人差があるため、情報や対応を発信する側の意図を読み取り、受信する側は認識を高め、情報収集をする。
前回の改善計画に対する取組み結果	・アンケート調査は出来ていないが、利用者や家族の意向に添える様に努力は怠ることなく実施している。 ・LINEworks の活用も活発になり、新人職員も一生懸命発信する努力をしている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?		✓			12
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?		✓			12
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いの声掛けや気遣いができていますか?			✓		12
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?		✓			12

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・初回ご自宅訪問、情報収集、可能な限り他職種で行い、利用者も家族も安心して生活ができるように検討や提案ができています。 ・契約時から利用者や家族のニーズの確認ができています。利用開始後も、意向の確認や職員各々の気付きにより、対応の変更や調整がこまめに行われている。 ・LINEworks (※) の活用は積極的に行われ、グループラインを“事業所用”“利用者様用”に分けて情報共有を行っている為、情報が整理しやすい。また、遡って確認ができる為、訪問先での確認等にも役立てる事ができています。	
(※) LINEworks : 社用スマホが支給されており、LINEworks というチャット機能を含むグループウェア機能を提供するビジネス版 LINE です。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・緊急で受け入れたケースが複数件あり、台帳作成が間に合わない、情報が薄い事があり、利用者の思いよりも、家族の思いが先行して利用開始となるケースがあり、今年度は特に主介護者の入院を機に利用開始が多く、情報収集にも、普段関わっていない親族からの情報となったりで、スムーズにケア導入が行かない事もあった。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
・利用者の情報共有カード (ケアプランを記載) を作成し、いつでも見れるようにしておき、スキルの違いがあっても、カードを見る事によって統一したケアが出来る様に努める。 ・アセスメントシート (情報収集シート) を活用しているが、今まで以上に充実した内容にしていき、情報共有カードに落とし込んでいく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 6 年 10 月 16 日 (14:00 ~ 14:10) 令和 6 年 10 月 24 日 (14:15 ~ 14:25)
2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)	メンバー	松橋・荻ノ沢・木村・奥瀬・前田 石渡・佐々木・畑中 (義)・畑中 (悠)・盛田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1	3	6	2	12

前回の改善計画	・利用者の「何もやりたくない」「どこにも行きたくない」で終わらせず、どうしてなのかを探り、もっと深く知るための情報収集を行う。 ・担当の思いにバラツキがある。担当は、家族、利用者と一緒にじっくり話し合う機会を作り、情報を聞き出し、一人で支援するのではなく、他職員と声を掛け合って、職員全体で支援していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	・ひもときシートを活用し、深く情報収集に努めた。集めた情報により、担当利用者、職員の個別外出実施に繋がり好評だった。 ・担当利用者への思いに対しばらつきは多少改善されたが、担当の変更が頻繁になり、じっくりと担当利用者と向き合う事が出来ない職員もいた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?		✓			12
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?		✓			12
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?		✓			12
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	✓				12

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・ひもときシートの活用により、全体的に利用者を観察する事ができ、会話の内容次第では場所を変更して傾聴し、遠慮なく話して貰える環境作りを行う事ができた。それが、個別外出に繋がり、職員との信頼関係構築のツールとなり、少しずつではあるが“本人の目標”“～したい”に近づいている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・日々変わる思いに寄り添う事が出来ずに、単発で終わってしまう事もあった。継続して対応出来ていれば、もっと、違うものも見えて来たのではないかと感じた。 ・利用者担当職員だけが頑張っている姿が見られ、自分の担当利用者以外の利用者に興味を持たない職員が複数名おり、その職員は自分の担当利用者にも深い関わりを持とうとしていなかった。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
・職員全体で支援する気持ちが掛けている為、改めて“チーム”としての意識改革を研修に参加した職員が、チームビルディングやメンターの技法の下実践していく。 ・様々な病気、障害を抱えている方々とも意思疎通ができるように、各職員が自己研鑽に励み、利用者の思いを聞き出せるコミュニケーション技法を行っている職員を見習い、会話だけがコミュニケーションではない事を理解しケアを行っていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 6 年 10 月 16 日 (14:10 ~ 14:20)
令和 6 年 10 月 24 日 (14:25 ~ 14:35)

3. 日常生活の支援

メンバー 松橋・荻ノ沢・木村・奥瀬・前田
石渡・佐々木・畑中(義)・畑中(悠)・盛田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2 人	5 人	3 人	2 人	12 人

前回の改善計画
・担当学会議等で自宅訪問する際には同行し、自宅での様子や生活環境を把握し、支援に繋げていく。知り得た情報は発信し、共有していく。 ・通い利用時にはコミュニケーションを多くとるように努め、以前の暮らし方を引き出せるようにしていく。
前回の改善計画に対する取組み結果
・担当学会議には可能な限り看護師も含めた職員も参加する事ができ、自宅と施設での生活や表情の違いを知る機会があった。自宅での生活環境や表情を知るだけでも、施設での過ごし方を変化させる必要がある事を認識したり、ケアを変える事もできた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?		✓			12
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	✓				12
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	✓				12
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	✓				12
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	✓				12

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・利用者のその日その日の体調の変化や、気持ちの動きに敏感に気付く事ができ、申し送りや必要時は LINEWorks を活用し情報の共有を行う事が出来た。 ・利用者の“何か変”に気付く事ができ、家族に伝える事によって大きな病気の発見に繋がり、些細な変化も見逃さずに家族と協働して支援する事ができた	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・「以前の暮らし方」については充分な程情報を得ることが出来ていない。また、主介護者が遠方に住んでいたたり、主介護者自体が離れて暮らしている期間が長く、情報として薄い家族が増えていると感じている。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
・利用者に対しての“気付き”や“何か変”を捉える事は怠る事無く継続し、介護者側の思い込みのケアではなく、利用者が現在何に困っていて、どんなケアを必要としているのかを把握し、適切なケアを行っていく。 ・利用者の状況に変化が表れた時には、速やかに情報共有を行い、適切な対応を心掛け、必要な所に家族も交えて支援をして行く。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 6 年 10 月 16 日 (14:10 ~ 14:20) 令和 6 年 10 月 24 日 (14:25 ~ 14:30)
4. 地域での暮らしの支援	メンバー	松橋・荻ノ沢・木村・奥瀬・前田 石渡・佐々木・畑中(義)・畑中(悠)・盛田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1 人	7 人	2 人	2 人	12 人

前回の改善計画	・民生委員、地域資源については引き続き勉強会の開催や研修等へ参加し、各々が学ぶ時間を作っていく。 ・引き続き、担当者会議やモニタリングの際は担当職員も同行する。日々の情報は連絡ノートを活用し、施設内での過ごし方を家族に伝え、自宅での様子やこれまでの生活スタイルとの違いなどを把握するように努める。
前回の改善計画に対する取組み結果	・民生委員、地域資源の勉強会の開催、研修参加が出来なかった。いまだに地域資源って？と言う言葉が聞かれる為、勉強ができる機会を設けていきたいと思った。 ・ケアマネジャーが自宅訪問する時には可能な限り看護師、又はケア職員の同行を行い、違う視点で見る事によって、様々な意見が出された為今後も継続して行いたい。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	✓				12
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	✓				12
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?		✓			12
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	✓				12

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・独居の方でも近所の方との関係性が途切れない様に、ご家族様に確認し、施設としてご挨拶をさせてもらい、何かがあった時には連絡を貰うようにし、実際、連絡をもらう事で夜間の訪問をしたりし、近所とお関係性も良いと思った。 ・自宅での過ごし方の確認やどの様になって欲しいかを確認し、施設と自宅で同じ対応が出来る様に、連絡ノートを活用し家族との情報共有を行う事が出来た。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・施設時間に重点を置いてしまっていて考える事が多く、自宅での生活を意識する事が無い事が多かった。 ・家族の言葉だけを信じてしまい、左右される事があった。 ・送迎時、家族に自宅の過ごし方を聞いた時に「自宅での生活を知ってどうするんですか?」と質問されたが、根拠を持って説明が出来なかった。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
・ひもときシートを繰り返し更新していく事によって、自宅での生活や今までの生活などに焦点を当てて考えていく事が出来ると思う為、ひもときシートの継続、定期的な更新を行っていき、ケアプランに更に落とし込んで行けるようにしていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 6 年 10 月 16 日 (14:20 ~ 14:30) 令和 6 年 10 月 24 日 (14:35 ~ 14:45)
5. 多機能性ある柔軟な支援	メンバー	松橋・荻ノ沢・木村・奥瀬・前田 石渡・佐々木・畑中 (義)・畑中 (悠)・盛田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	4 人	5 人	2 人	1 人	12 人

前回の改善計画	多機能性ある柔軟な支援
・送迎時のコミュニケーションや連絡ノートを活用し、利用者・家族から必要な情報やニーズを引き出す。それをラインワークスで発信することにより、同時に職員間で情報を共有し検討、地域資源も活用し適切な支援をしていく。	
前回の改善計画に対する取組み結果	・送迎時になかなかゆっくり家族と話す事ができず、結局連絡ノートでのやり取りが主となっているが、収集出来た内容は申し送りやLINEWorks で共有する事は出来た。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	✓				12
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	✓				12
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	✓				12
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	✓				12

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・利用について拒否があった時等、無理強いせずに代替日の提案や訪問に変更して対応する事ができており、小規模らしいサービスの提供が出来ている。 ・ご近所の方や配食サービスの安否確認等連携を図り何かがあった時には連絡をしてもらえ関係性を築く事が出来ている。 ・些細なことなども連絡ノートに記載し家族に報告をしており、家族の気持ち等にも働きかけている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
① ~ ④は小多機らしく出来ている為、できていない点はなし。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
・出来ている点の継続	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 6 年 10 月 16 日 (14:20 ~ 14:30) 令和 6 年 10 月 24 日 (14:35 ~ 14:45)
6. 連携・協働	メンバー	松橋・荻ノ沢・木村・奥瀬・前田 石渡・佐々木・畑中 (義)・畑中 (悠)・盛田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1 人	3 人	2 人	6 人	12 人

前回の改善計画	・町内会のイベントには、可能な限り参加・協力し、施設の行事に地域の方を招き入れるなどして、地域との連携を密にしていく。 ・自治体、地域包括支援センターから参集があった場合、積極的に参加していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	・町内会イベント、地域の公民館イベントに積極的に参加する事が出来た。必要な物品などの貸出も行い裏方でも協力ができ、必要とされていると実感した。 ・町内会の集まりや、高齢者支援センターからの要望があった時には積極的に参加した。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか?	✓				12
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	✓				12
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか?	✓				12
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	✓				12

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・町内会のイベントや管理者が町内会の役員を行い、いざという時は連携が取れやすい環境になっている。 ・利用者様の主治医に手紙や来院して情報提供をしたり、新規利用者、福祉用具が必要な時等、必要な時には会議を開催し、他職種の意見を反映している。 ・高齢者支援センターからの参加依頼は断る事無く参加している。 ・地域交流祭を今年は復活させる予定で準備を進めていたが、直前で自粛せざるを得ない状況となったが、感謝祭として、規模はかなり小さくなったが、お世話になっている方々にだけでもと思い実施し、地域の方々、お子様も参加してくださり楽しくイベントを開催する事が出来た。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
① ~ ④は小多機らしく出来ている為、できていない点はなし。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
・出来ている点の継続	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 6 年 10 月 16 日 (14:40 ~ 14:55) 令和 6 年 10 月 24 日 (14:45 ~ 15:00)
7. 運営	メンバー	松橋・荻ノ沢・木村・奥瀬・前田 石渡・佐々木・畑中 (義)・畑中 (悠)・盛田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	未回答	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	人	5 人	2 人	3 人	2 人	12 人

前回の改善計画	・運営、事業所に対しての勉強会や研修に参加してもらい、知識を深め温度差を無くしていく。 ・運営推進会議では、意見を出して頂きやすいように、より良い関係性を構築していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	・職員の入れ替わりがあり、新しい風として色々な発言をしてくれている為、取り入れて出来る所は行っている。 ・運営推進会議の評議員の方々とは良い関係性が出来ていると思う。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか？	✓				12
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか？	✓				12
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか？	✓				12
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか？	✓				12

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・町内会や地域でのイベントに協力したり参加したり、又は物品の貸出等協力が出来ている。 ・利用者、家族からの要望に関しては、可能な限り対応している。 ・運営推進会議では忌憚のない意見を頂戴し、意見に対して真摯に向き合い対応している。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
① ～ ④は小多機らしく出来ている為、できていない点はなし。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
・出来ている点の継続	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 6 年 10 月 16 日 (14:40 ~ 14:55) 令和 6 年 10 月 24 日 (14:45 ~ 15:00)
8. 質を向上するための取組み	メンバー	松橋・荻ノ沢・木村・奥瀬・前田 石渡・佐々木・畑中 (義)・畑中 (悠)・盛田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	10 人	1 人	1 人	12 人

前回の改善計画	・リスクマネジメントの考え方を理解する。言葉での拘束や何気ない声掛け一つにしても、声のトーンなど、相手の目線に合わせて話す事で利用者の気持ちに寄り添えるケアが大切だと認識する。
前回の改善計画に対する取組み結果	・毎月のセルフチェックで自分を振り返り、周りを振り返る事が出来ており、問題があった時には会議で話し合ったり、セルフチェックの自由記載に対しての、管理者からの返答で確認が出来る為、根拠を知り適切なケアが出来ている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか	✓				12
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	✓				12
③	地域連絡会に参加していますか	✓				12
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	✓				12

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・外部研修、内部研修、勉強会等積極的に参加する職員が増えている。また、受けた研修は復命書を記入し全職員に閲覧して貰ったり、会議で発表し共有をしている。 ・ヒヤリハットに関しては、記載方法を簡略化してから記入が増えてきており、再発防止に繋がっている。記入した際は LINEWorks でお知らせし、早い段階で全スタッフが確認出来る様にしている。また、ヒヤリハットの記載は“気付き”が多い人という側面で捉えている事を浸透させている為、ネガティブなイメージを払拭している。 ・地域の会議に関しては参加の要望があれば必ず参加する様にしている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・出来ている為、できていない点はなし。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
・出来ている点の継続	

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1 人	8 人	1 人	1 人	12 人

前回の改善計画
・ホール見守りや利用者対応方法にスキル差がある為、スキルの高い職員が指導を行い、差を縮められ「ちょっと待ってて」等の発言が発せられない環境を職員同士で切磋琢磨して作り上げていく。 ・小規模会議に参加した職員としていない職員では、次の日からの動きが違うとの事で、参加出来なかった夜勤者、遅番者には終了後、利用者に対しての大きな決まり事等リーダーが申し送る。LINEWorks にて決まり事を発信し、細かい会議内容は役職者から各々がきちんと情報収集をする様に努め、ふとした会話でも不適切に繋がらない様にしていく。
前回の改善計画に対する取組み結果
・スタッフの入れ替わりもあり、スキルの差を感じなくなっている。また、声を掛け合うなど協力し出来ている。 ・小規模会議後は、参加出来なかった職員の為、終了後すぐに LINEWorks を利用し、会議内容を発信している。不足や疑問の部分に関しては、出勤時に確認するようにしているため、周知が早く統一したケアや業務変更が速やかに行えている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	✓				12
②	虐待は行われていない	✓				12
③	プライバシーが守られている	✓				12
④	必要な方に成年後見制度を活用している				✓	12
⑤	適正な個人情報の管理ができています	✓				12

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・個人情報、プライバシーに関しては、職員各々の配慮が出来ており、適切に管理されている。 ・身体拘束、虐待は行われておらず、セルフチェックで毎月確認しており、必要時は面談などで対応している。時には、無記名、パソコン打ちでのアンケートも実施し、個人と分かり伝えにくい事も入力し、誰が記入したのか分からない様にして、施設内の状況を把握する事もある。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
④を必要としている利用者がいない	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
・出来ている点の継続	